

展示関連講座等

- ・ギャラリートーク 透明標本の世界（仮）
（講師：透明標本作家 富田伊織氏）
日時：7月15日 14：00～14：30（予定）
会場：特別展示室
対象：小学生以上

※申込不要。当日会場へお越しください。

上記の講座・企画は毎回申込方法が異なりますので、詳しくは直近の市政だよりや当館HPにてご確認ください。

ミュージアムトーク

※申込不要

学芸員による展示解説です。実施についての詳細な日時は開催月に当館HP等にてお知らせいたします。

子ども科学・ものづくり教室 子ども自然・学び教室



小中学生を中心に『不思議の種まき』をします。実験や科学工作、自然観察会などの直接体験を通して、その楽しさを伝えながら身の回りの様々な事象に対する興味・関心を高めていきたいと願っています。

ぜひ、ご参加ください！！

毎回テーマによって申込方法が異なりますので、詳しくは直近の市政だよりや当館HPにてご確認ください。



2023年度 通年講座・教室一覧 展示会スケジュール

各講座・教室の受講の際には博物館入場料が必要です。
通年で受講される方は年間入場券をお勧めいたします。

通年講座の申込方法

・往復はがきの場合

往復はがきに講座名、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて熊本博物館まで郵送（〒860-0007 中央区古京町3-2）

・ホームページの場合

博物館ホームページ（<https://kumamoto-city-museum.jp/>）の申込フォームに必要事項を入力

場所：トップ画面＞講座・教室＞お申し込み

定員（各講座20名）を超えた場合、抽選にて決定いたします。

締切日以降の申し込みについては直接博物館（096-324-3500）にお尋ねください。

※講座の内容や定員の空き状況次第では受け入れ可能な場合があります。

2023年度 開講 通年講座

植物学講座

身近な野草や樹木などに関する室内講座や観察会です
偶数月20日前後の木曜日に実施（4～12月・年間5回）
初回：4月20日（木）10：00～11：30 講堂
申込締切日 2023年4月10日（月）（必着）

民俗学講座

博物館の民俗分野に関する室内講座です
偶数月第3金曜日午後を中心に実施（年間6回）
初回 4月21日（金）13：00～ 講堂
申込締切日 2023年4月10日（月）（必着）

保存科学講座

資料保存に関する室内講座です
奇数月の第2土曜日午前を中心に実施（年間6回）
初回 5月13日（土）10：30～ 講堂
申込締切日 2023年5月6日（土）（必着）

考古学講座

遺物や遺跡に関する室内・屋外講座です
奇数月の土曜日午後を中心に実施（年間6回）
初回 5月20日（土）14：00～ 講堂
申込締切日 2023年5月8日（月）（必着）

動物学講座

身近な生きものに関する室内講座と観察会です
奇数月の第4土曜日午前を中心に実施（年間6回）
初回 5月27日（土）10：00～ 講堂
申込締切日 2023年5月8日（月）（必着）

地質学講座

化石や岩石、大地に関する室内・屋外講座です
偶数月の第3日曜日午後を中心に実施（年間5回）
6月18日（日）初回14：00～ 実験・工作室
申込締切日 2023年6月5日（月）（必着）

くまはくのゆるゆる美術部

熊本の美術に関する室内講座と見学会です
6、9、1月の第4日曜日午前に実施（年間3回）
初回 6月25日（日）10：00～12：00 講堂
申込締切日 2023年6月12日（月）（必着）

⇐通年講座の申込方法は紙面中央をお読みください。
2回目以降の開催日時等の詳細は個別にお知らせいたします。
各講座参加無料ですが、受講の際には博物館入場料が必要です。
通年で受講される方は年間入場券をお勧めいたします。

2023年度 展示会スケジュール

2023年3月時点での展示予定です。
都合によりタイトルや会期など
一部変更する場合があります。

①企画展

「立田山 ～身近な自然の魅力～」

3月18日(土)～5月14日(日)

立田山は熊本市の市街地にあり、身近に自然と触れ合える場所として親しまれています。また、哺乳類、鳥類、昆虫、樹木、草本類など数多くの生物も生息・生育しており、地域の自然環境としても重要な場所です。

本展では、身近な自然との関わり方について考え、理解を深めていただくことを目的とし、地質・動物・植物の3分野の資料により、変遷や成り立ち、自然環境や動植物などについて立田山の自然について幅広く紹介します。



② RKK熊本放送開局70周年

新世界 透明標本展

7月15日(土)～9月3日(日)

透明標本は、透明化した筋肉の中に赤く染めた硬骨と青く染めた軟骨が生きていた時のままの配置で観察できる標本です。その美しさは研究用資料にとどまらず、芸術作品と言っても過言ではありません。この展示会では、さまざまな動物の洗練された骨格の機能美をご覧いただき、進化の歴史のすばらしさ、生物多様性の面白さを感じていただきます。



③企画展（飯田丸五階櫓奇跡の一本石垣復旧記念）「清正から受け継いだ名城ー加藤忠広と熊本城ー」

10月14日(土)～12月17日(日)

平成28年（2016）熊本地震により甚大な被害を受けた熊本城。被災直後、「奇跡の一本石垣」として全国的にも有名になった飯田丸五階櫓を支えていた石垣が、8年の歳月を経た令和5年（2023）末に地震被害を克服して蘇ります。

この石垣は加藤清正の息子、忠広の時代に築かれたものであることが被災後の石垣の調査・研究で確定しました。また、忠広時代の石垣で埋没していた清正時代の石垣も姿を現しました。忠広時代に現在目にすることができる熊本城跡の原型が形作られたことは意外と知られていません。

本展は、未曾有の地震被害を受けたことにより、はっきりとわかってきた特別史跡熊本城跡に遺された石垣の構築履歴やその価値、特に全国的に有名な加藤清正とその後の熊本城主細川家の狭間であまり注目されてこなかった加藤忠広とその時代の熊本城を語る資料に焦点をあてて展示し、熊本博物館も立地している広大な面積を有する熊本城の歴史的価値を多くの方にご紹介します。



《加藤忠広像》江戸時代後期 熊本城
顕彰会寄託

④熊本市遺跡発掘速報展

1月6日(土)～2月18日(日)予定

熊本市内の最新の発掘成果を展示します。
土器や石器が盛りだくさん！
特別講演会もあります。



⑤企画展

「資料保存の世界ー博物館のウラガワー」(仮) 3月9日(土)～5月12日(日)

博物館は調査研究・展示・教育普及という役割に合わせて、管理・保存としての側面も合わせもっています。人文資料、自然史資料を収蔵する総合博物館として、展示・活用に様々な取り組みがおこなわれる一方で、資料が受ける影響も考慮しなければなりません。本展覧会では、科学的に見た資料の調査結果や保存処理・修復の工程、劣化要因などに注目し、対象となる資料と保存に関する道具を展示することで、普段見ることのない文化財保護の裏側について紹介します。



一般家庭でも要注意！ ヒメマルカツオブシムシの幼虫

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別展示室1												
特別展示室2												
特別展示室3	①立田山					②新世界 透明標本展		③熊本城と加藤忠広の時代				⑤資料保存の世界
										④発掘速報展		